



書あり 師あり 友ありて

文化発表会に向けて

学校長 平田 高之

文化発表会の練習風景については、ホームページでご紹介していますが、今回は、中心となっている文化委員長□□□□に、文化委員長として、また、文化発表会に向けての思いをインタビューしましたので紹介させていただきます。

○なぜ文化委員長になったのですか

1年生の時に、当時の3年生の生徒会執行部の人たちが、自分たちの手で行事を作り上げている姿を見て、すごいなあと感じ、憧れを抱いていました。そして、1年生の2学期に文化委員になり、「文化発表会」、3学期も文化委員になり「3年生を送る会」の取組を通じて、達成感を味わうことができました。2年生の1・2学期も文化委員を続け、委員長をやってみようと思いました。

○文化委員長をやってみての苦労はありますか

文化委員長だけでなく、執行部全体の仕事で、行事の準備、取組等の仕事は多いですが、会長をはじめとした今の執行部13名が手分けをして、とてもいい雰囲気で作れているので、大変だとは思っていません。

○文化委員長として今取り組みたいことは

校歌をクラス練習では歌えているのに、体育大会とか体育館で、いざ全校生で歌う時には声が小さいので、もっと大きな声が出るように雰囲気を作っていききたい。

○文化発表会について

全校生の記憶に残るような、忘れられない文化発表会にしたい。3年生にとっては、最後なので絶対成功させたい。

○全校生へは

昨日の文化委員会で、なかなかクラスの取組がうまくいなくて責任を感じている文化委員がいました。成功させるのは大変だけど、それだからこそ達成感があるのと思います。文化委員はあきらめずにがんばりますから、全校生の皆さんも前向きに取り組んでほしいと思います。

○保護者の皆さんへは

この前の「学校だより」で、アワーズホールを借りるのに900円もかかるのを初めて知りました。そのことも含め感謝の気持ちを持ちながら、全力で取組をがんばりますので、是非観に来て下さい。

とてもさわやかな笑顔でインタビューに答えてくれました。1年生の2学期から文化委員を続けているのに驚きました。先輩に憧れるだけでなく自ら行動し、さらに、次の学年へ引き継ごうとする姿勢に大変感銘しました。73回生の生徒会執行部としても最後の大きな行事となります。体育大会と同じく、13名が、各学年・各学級のリーダーたちと力を合わせて最高の文化発表会にしてくれるだろうと強く感じました。平日ですが、是非、その姿を観に来て頂けたら幸いです。

進路選択の時期を迎えて

いよいよ3年生は、自分の将来を見据えて進路選択をする時期になりました。10月31日に、「進路説明会」を開催し、進路希望調査も行います。義務教育9年間を終え、社会に出るのか、学び続けるのか、さらに、どのような学びをするのか具体的な選択をしなければなりません。

今の日本は、人口減少、少子高齢化、グローバル化や人工知能の発達等の波の中で、将来の変化を予測することが困難な状況にあります。これは世界的なことでもあり、少し前になりますが

○今のアメリカの子どもの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビットソン（ニューヨーク市立大学大学院センター教授：2011年）

○今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い

マイケル・A・オズボーン（オックスフォード大学准教授：2013年）

という論文が発表され、様々ところで紹介されていますのでご存じの方も多いかと思います。

また、ある民間企業が行った「中高生が思い描く将来についての意識調査2019」によりますと、男子中学生のなりたい職業ランキングは、1位「You Tuber等の動画投稿者」2位「プロeスポーツプレイヤー」3位「ゲームクリエイター」で、10年前にはなかった職業が上位を占めていました。（ただし、この調査のサンプル数は100名でしたから完全な資料ではありませんが…）また、AIやロボットの進化により、改札・レジ・電車（神戸のポートライナー）の無人化はすでに実現されていますし、バスや車の自動運転化、ドローンによる宅配等も、近い将来実現しそうです。

このように変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、中学生が身につけなければならない力は、「基礎基本の学力」は最低限必要ですが、「主体的に判断する力」、「多様な人々と協働していく力」等も重要となっています。そのため、学校では、教科の学習以外に、学級活動、道徳、総合的な学習、さらに、学校行事等の特別活動や部活動を行っています。

しかし、そもそも、一人一人に「夢」や「目標」がなければ、自分の将来の道を切り拓いていくことは難しいと思います。自分の将来の「夢」や「目標」は何なのか。その実現ためには今何をしなければいけないのか。進路を選択する今だからこそ、自分自身を見つめ直し、考えて考えて考え抜いて結論を出してほしいと願っています。

これまでも数々の奇跡を起こした73回生の生徒たちです！3年生の力は「∞」だと信じています。進路選択の中で苦しい時があるかもしれませんが、悩むことは大切ですし、学級担任をはじめとした3年生の教員にいつでもご相談頂けたらと思っております。73回生一人一人が、自分の可能性を信じ、夢の実現に向けた進路を実現できることを心より応援しています。

芝生の作業ありがとうございました

本年度は、10月1日にPTAの皆さんにご協力を得て、芝生の作業を行いました。本校の芝生は、「学校だよりNO.10(6月26日号)」でもご紹介させて頂きましたが、用務員の二人が日頃の手入れをしてくれ、つねにきれいな状態を保ち続けています。もとは前の市長が、学校園の芝生化を提唱し予算化されたのですが、現在は、土、種代などの物品支給だけになり、自分たちの手で維持しなくてはなりません。そこで、毎年、夏芝シーズンの終わりに、エアレーション、冬芝の種まき、目土を入れる作業のお手伝いをお願いしています。これでまた、1年中きれいな芝生を保つことができそうです。ご協力本当にありがとうございました。（筋肉痛になりませんでしたか…）

